

令和3年度

予算の概要 参考資料

 Doctor-Heli

 愛知医科大学病院
AICHI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL



学校法人愛知医科大学

令和3年度予算について ＜予算編成方針＞

学是「**具眼考究**」の実践実現

- ・学是の実践実現を念頭に置いて編成。

予算編成目標

- ・資金収支予算ベースでは経済変動の影響を柔軟に受け止めるとともに、いざというときの瞬発力となる繰越支払資金の具体的な目標金額を60億円とし、事業活動収支予算ベースでは、経常収支の黒字予算確保を図る。

令和3年度予算について

＜愛知医科大学メディカルセンター（分院）の設置＞

設置の目的

- Family Medicine（地域医療サポート）をコンセプトとし，本院で高度急性期医療を提供していくことと並行して，高齢化社会が求める医療と医療人の養成を実践する場。

分院の活用方法

- 新しく求められている地域医療ニーズに応える実践の場
- 医学部，看護学部，卒前卒後研修の教育病院
- 新たな医療人の育成

事業計画の概況（1 / 4）

教育について(医学部・看護学部)

- 本学では、感染防止を目的として「愛知医科大学の活動基準」を設定した。1. 教育(講義・演習・実習等), 2. 研究活動, 3. 学生の入構制限, 4. 課外活動, 5. 教職員, 6. 会議・セミナー, 7. 出張・旅行の7項目でレベルを0～4まで分類し、毎週のペースで感染状況にあわせて基準を設定。
- 学生の講義は一旦全てWeb配信とし、臨床実習も中止になったが、感染防止対策を行いながら、臨床実習を再開するとともに、講義もWebと聴講のハイブリッドの形式にて実施。今後も、ICT教育を利用した形を展開していく。

事業計画の概況（2 / 4）

研究について

- 令和3年度は、日本造血細胞移植データセンターの誘致計画、研究創出支援センターの拡充によるバイオバンクの本格稼働及び私立大学研究ブランディング事業の業務遂行等、一層の研究体制の充実と高度な技術者の定着を図る。
- 令和3年度予算では、研究のさらなる活性化を目的に、私学助成を活用して高分解能網羅的蛋白分析・定量システムに用いる質量分析計や遺伝子組換え動物実験に係るマウス胚操作システムを整備する等、引き続き、研究体制の強化に向け、設備投資を行っていく。

事業計画の概況（3 / 4）

診療について

- 新型コロナウイルス感染症について、令和3年度も、国や愛知県の医療政策等に十分な注意を払い、臨機応変に対応することが求められる。
- 令和2年度は電子カルテサーバ・端末・システム・ソフトウェア等の病院医療情報システム系を信頼性・利便性の向上を図るため更新を行った。引き続き最先端の医療機器を整備し、最新医療を展開するために年次計画更新を継続する。
- 働き方改革を実行するため、職員全体の勤務時間の適正化、ワークシェアリング、医師の超勤対策等への事業費を積極的に計上する。

事業計画の概況（４ / ４）

外部評価

- 令和2年10月11・12日に公益財団法人大学基準協会による大学評価を受審。内部質保証が重点にされており、PDCAサイクルの実態が検証され、結果、「適合」の評価を獲得した。
- 新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で延期となっていた、日本医療機能評価機構による病院機能評価一般病院3は今秋受審予定。

予算規模の推移

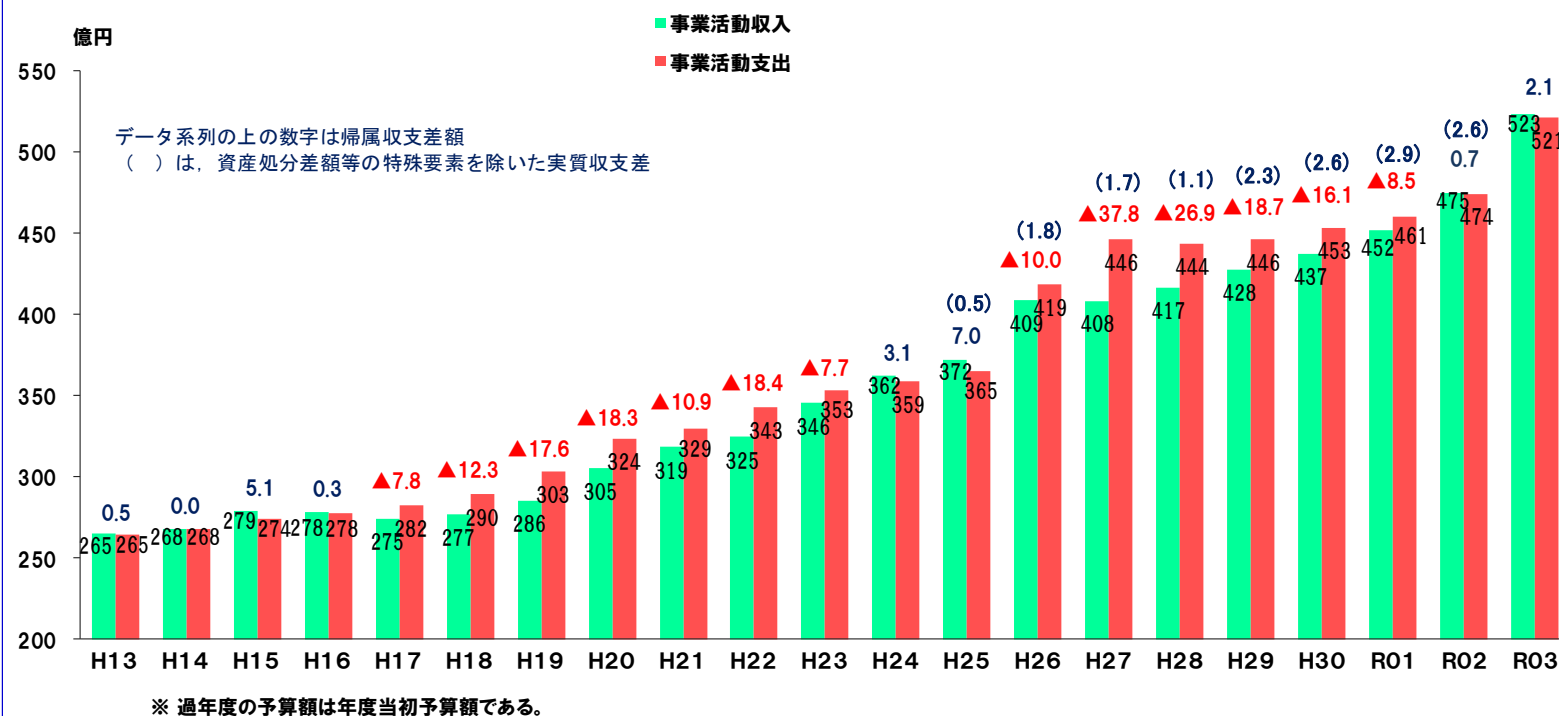
令和3年度の予算状況は、

事業活動収入 523億4,664万余円

事業活動支出 521億3,682万余円

となっており、事業活動収支差額は2億982万余円の黒字となっています。

(経常収支差額は3億4334万余円の黒字となっています。)



教育・研究に関する重点事業

(1) 教育環境の整備

出席管理システムリプレイス

- ・ 医学部・看護学部の出席管理のシステムサーバーと各教室のカードリーダーを更新する。顔認証やWebによる出席確認が可能となる。(56,210千円)

心臓病患者シミュレーターの購入

- ・ シミュレーションセンターの心臓病患者シミュレーターを買い替え、シミュレーション教育を充実させる。(6,050千円)



研究棟101・106実習室AV機器更新及び壁・天井の塗装工事

- ・ 平成18年に導入されたAV機器を更新し、部屋の壁や天井の塗装工事を行うことで、教員・学生にとってより良い授業環境を構築する。(13,508千円)

教育・研究に関する重点事業

(2) 特定資産を財源とする事業

教育研究活性化引当特定資産を財源

- 医学部若手研究者に対する教育研究奨励助成を実施する。(6,003千円)
- 看護学部若手研究者に対する研究助成を実施する。(1,500千円)

国際交流推進引当特定資産を財源

- 外国人研究者に対する滞在費助成を実施する。(7,672千円)



教育・研究に関する重点事業

(3) 研究環境の整備

高分解能網羅的蛋白分析・定量システム

- ・私学助成制度を利用し、質量分析計を更新する。(92,528千円)

日本造血細胞移植データセンター整備事業

- ・本学に日本造血細胞移植データセンターを誘致し、2号館(管理棟)を整備する。誘致により、本学の教育・研究の進展と向上、診療の充実を図る。(89,350千円)

屋上排気フィルター交換及び給気システム整備

- ・平成14年に設置された研究棟102・103・104号室の屋上排気フィルターを交換する。また、102号室に給気システムを整備し、より良い研究環境を構築する。(10,842千円)



5号館(総合実験研究棟)空調設備更新工事

- ・設置から32年が経過した空調設備を更新し、安定した動物飼育環境の確保と室圧エアバランスの調整により、臭気の改善を図る。(53,620千円)

教育・研究に関する重点事業

(4-1) 研究活動の活性化

倫理審査申請システムの改修

- ・ 新たな倫理指針が施行されるため、これに対応可能となるよう倫理審査申請システムの改修を行う。(3,429千円)

私立大学研究ブランディング事業

- ・ 健康維持・増進を支える次世代先制地域医療：炎症評価コホート研究を継続実施する。(37,796千円)

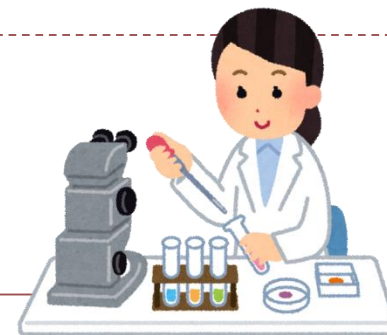
胚凍結及び移植の技術基盤と実験動物リソースの適正な保管システムの構築

- ・ 遺伝子組換え動物実験の利用増大に伴い、マウス胚操作システムを整備し、遺伝子研究活動の体制強化や飼育施設の省スペース化による利便性向上を図る。(8,941千円)



教育・研究に関する重点事業

(4-2) 研究活動の活性化



研究創出支援センター(バイオバンク)の体制強化

- 研究創出支援センター機能の発展とバイオバンクの体制をより強固なものとするため、バイオバンク施設を改修すると共に、研究創出支援センターの教員と職員を増員する。(29,837千円)

基礎研究医養成活性化プログラム

- 基礎研究医養成活性化プログラムを実施し、基礎研究医及び病理学・法医学研究医を養成する。(600千円)

教育・研究に関する重点事業

(5) 教員評価制度

教員評価制度の処遇反映

- ・ 処遇反映制度を導入することで、
教員のモチベーション向上を狙う。
(1,200千円)



医療に関する重点事業

(1-1) スタッフの増員

(総額11,244千円)

管理栄養士の増員

- 患者への栄養指導だけでなく、チーム医療における管理栄養士の役割と業務の拡大に対応するため、管理栄養士を増員する。



体表面補綴外来の設立

- 体表面補綴外来の設立に向け、専任の医療職員を増員し、装具や再建部位の鋳型作成用の設備を設置する。

医療に関する重点事業

(1-2) スタッフの増員

(総額30,318千円)

新型コロナウイルスへの対応に向けたスタッフの増員

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大への対応のため、臨床検査技師・臨床工学士・診療放射線技師を1名ずつ増員する。



社会福祉士の増員

- ・ 病院の退院支援の充実や愛知県の委託事業や地域医療連携に対応するため、社会福祉士を1名増員する。

理学療法士の増員

- ・ 理学療法士2名を増員し、急増するICUにおけるリハビリ業務への対応と早期離床・リハビリテーションの更なる実施を目指す。

医療に関する重点事業

(2) 診療活性化対策

診療看護師手当の増額について

- ・役割が拡大し、今後さらに活躍が期待される診療看護師の手当を増額する。(5,760千円)



看護師の特定行為研修の領域追加

- ・特定行為研修の領域として新たに創傷管理領域を設け、看護師の研修制度を充実させる。(1,119千円)

新任教授紹介広報

- ・新たに就任した教授の紹介動画やパンフレットを作成し、地域の医療機関や患者へ広く広報することにより、患者数の増加を図る。(6,025千円)

診療活性化対策費(病院長インセンティブ)の支給

- ・病院長が入院外来診療報酬請求額の前年度対比を評価指標とし、各種項目を裁量評価することで、成果を挙げた診療科等に病院長インセンティブを支給する。(72,000千円)

医療に関する重点事業

(3-1) 診療用機器の整備

(総額410,000千円)

手術用顕微鏡の購入

- 老朽化した手術用顕微鏡を様々な機能を有し、より高機能で、高解像度の映像出力が可能な顕微鏡へ更新する。

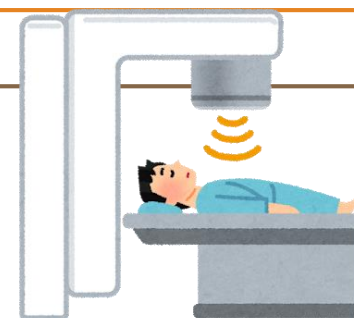


内視鏡センターのX線透視装置増設

- X線透視が必要な症例や救急患者の緊急検査に対応可能なX線透視装置を備えた内視鏡検査機を増設し、更なる検査数の増加を図る。

機器の老朽化による更新

- 乳房X線装置
- 骨密度測定装置
- 外科用イメージ
- ポータブルX線装置



医療に関する重点事業

(3-2) 診療用機器の整備

温熱療法装置整備事業

- がん拠点病院としての機能拡大に向け、がん治療の一種である温熱療法装置(ハイパーサーミア)を整備する。



温熱療法装置
ハイパーサーミア

医療に関する重点事業

(4) 病院運営管理の強化

(総額144,279千円)

医師事務作業補助体制加算1(25対1)を算定できる体制の構築

- ・勤務医の働き方改革を推進し、質の高い医療を提供するため医師事務作業補助者を増員する。

看護補助者の雇用形態変更による急性期看護体制加算25対1の年間算定

- ・看護師の働き方改革を推進するため、看護補助者を増員し、看護業務のタスクシフト・タスクシェアリングを進める。

医療情報システム運用管理業務委託事業

- ・更新された電子カルテや医事システムの管理を専門の外部業者に委託することで、より安定したシステム運用を図る。

BCP(業務継続計画)における災害対応事業

- ・災害対応事業として、防護衣の整備や地震への備えのため病棟の棚や家具の固定を行う。

病院機能評価機構「一般病院3」受審事業

- ・新型コロナウイルス感染蔓延の影響により延期となった病院機能評価を改めて令和3年度に受審する。

検査関連部門における「ISO 15189」の認定更新

- ・本院の検査の質の担保及び検査室運営に必須な国際規格ISO 15189の認定を更新する。



医療に関する重点事業

(5) 病院システム更新関連

(総額488,000千円)

Syngo via serverの更新

- 心臓CTの解析処理に使用するサーバーの更新とCT・MRIサーバーの統合を行う。さらに、保存容量確保のためサーバーを追加し、利便性の向上を図る。

PET/CT装置のワークステーション整備事業

- PET/CT装置に使用しているワークステーションが老朽化したため、更新する。



生理検査システム更新事業

- 老朽化に伴い、中央臨床検査部の生理検査情報システムを更新する。

NAVIT(患者案内端末)更新事業

- 2014年から稼働しているNAVIT(患者案内端末)システムは老朽化しているため、計画的な更新を行う。

医療に関する重点事業

(6) 継続事業

病院広報促進事業

- ・地域住民や連携病院、地域開業医への広報促進を図る。アピールポイントを積極的に对外発信することで、「救急医療といえば、愛知医大」というブランドイメージアップに努める。(31,090千円)



高度専門看護部門及び助産師奨学金制度

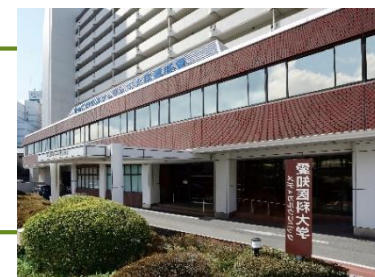
- ・キャリアアップを目指す看護師のための奨学金制度を充実させる。(34,900千円)

先進医療推進事業

- ・病院の基本方針のひとつである「先進的医療技術の開発・導入・実践の推進」に従い、先進医療が認められるための実績づくりに必要な経費を予算措置し、確保する。(10,000千円)

メディカルクリニック広報事業の強化

- ・7診療科の体制や専門的外来診療の実施等を周知し、新たな患者の獲得並びに外来患者数の増加を図る。(5,891千円)



法人・大学運営に関する重点事業

(1) 建物修繕

(総額304,500千円)



特高変電所 特高変圧器更新工事

- ・1987年の設置から32年が経過する特高変電所の特高変圧器3基を更新する。事業は前年度からの2か年計画で、本年度は設備の設置工事が行われ、令和3年度末に完成予定。



2号館(研究棟)管理棟西・北面外壁塗装補修工事

- ・2号館(研究棟)は本学の玄関口となっているが、過去の外壁塗装補修工事から30年が経過し、劣化が進行しているため、塗装補修を行う。



※イメージ図

電力監視装置更新事業

- ・2013年から稼働しており、期待寿命が超過しているため、当該システムの簡素化を念頭に設計・更新を行い、工事やランニングコストの削減を図る。

法人・大学運営に関する重点事業

(2) その他

経営改革・イノベーション推進事業

- ・ 理事長直轄の組織である経営戦略推進本部において、1. 地域医療連携、2. 救急体制の改革、3. 働き方改革、4. 財政基盤改革、5. 中期計画・中期目標、6. 50周年プロジェクト、7. その他分院等のイノベーションプロジェクトに取り組む。(75,000千円)

人事・給与・勤怠システムの入替

- ・ 2006年に導入した人事システムを各機能が集約されたオールインワン型かつクラウド利用製品に入れ替え、ランニングコストや紙運用から電子化の移行に係るコスト等の削減を図る。(128,700千円)



中央棟他誘導灯修繕工事

- ・ 消防設備点検による指摘事項を改善し、消防法の遵守と職員の安全と安心を図るため、不具合が確認された器具の交換を行う。(11,520千円)

施設系ネットワーク機器更新工事

- ・ 施設の電力・空調・照明・電話・セキュリティの制御・統制管理を行っているネットワーク機器が法定耐用年数を経過するため、更新し、設備の安定稼働を図る。(49,500千円)

(3) 立石池外周道路（第2期）拡幅事業

